



徳島県立中央病院 患者支援センター
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3
<http://www.tph.gr.jp/>

電話 088(631)7151
FAX 0120(631)715
mail: chiiki@tph.gr.jp

形成外科の最近のニーズ

徳島県立中央病院 形成外科 瀬渡洋道

前号に続いて、当科で対応している悪性腫瘍の中でも比較的多いものについてご紹介いたします。

3) ポーエン病

- #SCC in situ
- #境界がはっきりした紅斑が多い
- #紅斑内に痂皮を付着し、次第に角化傾向が強くなる
- #日光角化症と異なり、非露出部にも発生する
- #湿疹と似るが、境界が明瞭でステロイドに反応しない場合はポーエン病が疑われる



やや隆起した
境界明瞭な紅色局面



境界明瞭な紅色局面
部分的に付着する痂皮

4) 日光角化症

- #高齢者の顔面や手背に限局した紅色のカサカサした病変や、難治性のびらんとして見られる
- #表皮角化細胞が主に紫外線の影響で癌化し、皮膚浅層に病変を生じる(上皮内癌)
- #疑わしい場合は生検で確認する



露光部の色素斑上に見られるカサカサ
あるいは浅いびらん

5) 悪性黒色腫

- #発生頻度は年間10万人あたり2人程度
- #病型：表在拡大型、悪性黒子型、肢端黒子型、結節型
- #日本人では、手掌、足底、爪甲にほくろのような色素斑で発症する肢端黒子型が多く(全体の約45%)、部位では足底が好発部位(全体の約30%)

#悪性黒色腫を疑うポイント

- 1：左右非対称 2：境界が不整
- 3：内部の色が不均一 4：7mm以上



【悪性腫瘍を疑う所見】

- i ステロイドでも治りにくい湿疹性病変
- ii 潰瘍やびらんが混在する病変(出血、滲出液)
- iii かさぶたが付いては取れるを繰り返している
- iv 病変の形が不整形
- v 外観(色、表層の質感など)が均一でなく色々な病変が混ざっている
- vii 汚い印象あるいは臭う
- vi 真っ黒

E-ナース院内研修のお知らせ



① 『看護師のキャリアデザインを考える』

講師：道又 元裕 氏（杏林大学医学部附属病院 看護部長）

日時：令和元年9月11日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

② 『入退院支援最前線～PFMで病棟と地域を繋ぐ』

講師：飯野 直子 氏（上都賀病院 退院支援専従看護師）

日時：令和元年9月25日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

① 『IAD（失禁関連皮膚炎）の予防と対応について』

担当：皮膚排泄ケア認定看護師 大野 美寿々

日時：令和元年8月6日（火） 17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

② 『①摂食嚥下と口腔ケア ②人工呼吸管理に伴う合併症（VAP）について』

担当：集中ケア認定看護師 谷藤久美・殿谷淳子

日時：令和元年8月9日（金） 17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

③ 『胸痛への対応・ショックについて』

担当：救急看護認定看護師 松本康代・長井貴司

日時：令和元年9月3日（火） 17:45～18:45

場所：当院3階 講堂

*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局教育担当 佐藤

がん相談支援センターのご紹介

当院のがん相談支援センター（患者支援センター内）では、がんに関する悩み事や不安について、専門の相談員が相談支援を行っております。

院内外問わず、地域の医療機関の皆様からのご相談もお受けしております。

お気軽にご連絡ください。

以下のようなご相談に対応しております。

- ・がんの治療に関する一般的な情報が知りたい
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・アピアランスケアを受けたい・知りたい
- ・他のがん患者さんと話をしてみたい
- ・がん治療をしながら、仕事を続けていけるか不安 など

窓口：当院1階 総合案内 がん相談支援センター（患者支援センター）

TEL：088-631-7151（内線：5225）



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL

《報告》

皆様のおかげをもちまして、

令和元年6月は、地域医療支援病院

紹介率 92.1% 逆紹介率 177.6%でした。

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願い申し上げます。